

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

苦小牧信用金庫（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

格付事由

- (1) 苦小牧市に本店を置く、資金量約 4,000 億円の信用金庫。製造業の集積がみられるなど道内では比較的恵まれた経済環境下にある苦小牧市内において、安定的に高い預貸金シェアを有するなど、強固な事業基盤に加え、高い資本水準や良好な貸出資産の質が格付を支えている。資金運用利回りへの下方圧力が強まるなか、今後も比較的高い収益性を維持していけるかが格付上のポイントである。
- (2) コア業務純益は 07/3 期以降概ね 20 億円台前半で推移し、16/3 期の ROA や総資金利ざやは信金平均を上回る水準にある。17/3 期も、経費の削減などによりコア業務純益の水準は前年並みを維持した模様である。一方で、市場金利の低下などを背景とした、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少圧力は強い。比較的収益性の高い融資の積み増しなどを通じ、収益力の低下をどの程度抑制していけるか注目している。
- (3) 金融再生法開示債権比率は 16 年 9 月末で 3.35%と、信金平均を大きく下回る水準にある。また、与信費用は一貫してコア業務純益で十分に賄える範囲内に収まっている。担保や引当などにより比較的保全が効いていることなどを勘案すると、今後も与信費用は落ち着いた水準で推移すると見込まれる。ただ、大口与信先の貸出金残高に占める構成比が高い点には注意を要する。
- (4) 保有有価証券の 7 割超を公共債が占めており、ポートフォリオの流動性および安全性は高い。市場金利の大幅な低下を受け国内債券への再投資を控えており、金利リスク量は減少傾向にある。運用の多様化を進め投資信託や外国証券への残高は増加しているものの、資本水準に比べ極めて小さく価格変動リスクは限定的である。
- (5) 16 年 9 月末の単体コア資本比率は 25.38%と高い。貸出金増加に伴うリスクアセットの増加が見込まれるものの、与信費用が落ち着いていることや配当負担の軽さを背景に、持続的な内部留保の蓄積が見込まれることから、現状程度のコア資本比率を当面維持可能と JCR はみている。

（担当）大山 肇・清水 達也

格付対象

発行体：苦小牧信用金庫

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年5月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 苫小牧信用金庫
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル